



学校だより 第10号

令和8年2月19日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 賀屋 寛
副校長 渡部 裕也

ともに、一步踏み出す勇気を

～スキー移動教室、冬季オリンピック～
副校長 渡部 裕也

厳しい寒さの中にも、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。2年生はスキー教室を実施いたしました。生徒たちは、普段の学校生活では味わうことのできない白銀の世界の中で、自然の美しさと厳しさを体感しながら、仲間とともに充実した時間を過ごすことができました。

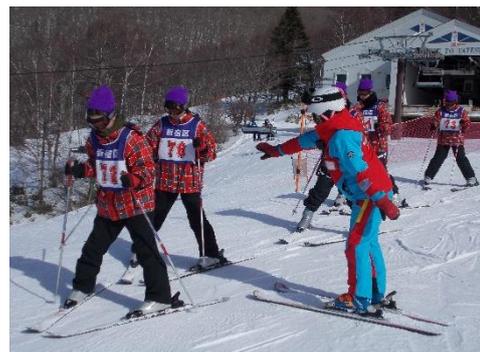
スキーが初めての生徒は、最初は思うように滑ることができず、何度も転びながら練習を重ねていました。しかし、諦めることなく挑戦し続ける中で、少しずつ滑る感覚をつかみ、自分の力で斜面を滑り降りることができたときの表情は、大きな達成感と自信に満ちていました。3日目には滑れるようになった生徒が多く、「もっとやりたい。もっと楽しめるのはこれからなのに…」とスキー移動教室が終わってしまうことを惜しんでいる生徒が多数おりました。

今回のスキー移動教室で、生徒たちもまた、「できなかったことができるようになる喜び」や「努力を続けることの大切さ」を実感することができました。最初は不安そうだった生徒が、自信を持って滑る姿へと変わっていく様子は、まさに成長そのものでした。この経験は、スキー技術の習得にとどまらず、今後の学習や学校生活、そして将来さまざまな困難に直面したときにも、諦めずに挑戦する力につながることでしょう。

また、宿泊を伴う集団生活の中で、時間を守ることの大切さや、互いに協力し合うことの必要性、周囲への感謝の気持ちなど、多くのことを学ぶことができました。仲間と過ごした時間や、共に励まし合った経験は、生徒たちにとってかけがえのない財産となったことと思います。

現在開催されているミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック大会では、多くの日本人選手が世界の舞台で自らの限界に挑んでいます。スノーボード・ハーフパイプに出場した平野歩夢選手は、右腸骨など2か所の骨折を抱えながらの挑戦となりました。着地するたびに下半身への負担が積み重なる競技で辛い中、より高得点を狙うため、骨折を引き起こした時と同じ「ジャパングラブ」という技にチャレンジしました。着地が乱れて転倒しましたが、果敢な姿が大変印象的でした。競技後の「生きて戻れてこられて良かった」というコメントからは、本当に命がけだったということが分かりました。平野歩夢選手は、北京2022冬季オリンピック大会においてオリンピック史上で初めて「トリプルコーク1440」を成功させて金メダルを獲得しています。今回の大会は空前のハイレベルな戦いと評されており、平野歩夢選手が前回大会で世界中に衝撃を与えた「トリプルコーク1440」がハーフパイプ会のレベルを引き上げたとも言われています。結果は7位でしたが、平野歩夢選手が与え続けている影響はとても大きなものです。

平野歩夢選手の挑戦からも感じられますが、今回のスキー教室でも「挑戦する心」と「努力を続ける力」を生徒たちは体験を通して学べたのではないかなと思っています。ぜひ今後の学校生活や自らの生き方に生かして行ってほしいと願っています。



POPによるおすすめの本の紹介

～地域図書館と連携した取り組み～

新宿区立図書館では「第六次新宿子ども読書活動推進計画」に基づき、学校と連携して中学生・高校生等向け読書支援の充実に取り組んでいます。1月16日から2月8日まで、新宿区立こども図書館の3階展示スペースに、本校生徒が作成した「POPによるおすすめの本の紹介」の作品が展示されました。図書委員会と美術部が協力した作品です。展示された期間は、その本の貸出率が高くなったり、図書館にない本は新しく購入するきっかけとなったり、予想以上の効果があったとのこと。学校では2月17日から20日の4日間を「朝読書強化ウィーク」として図書委員会が企画し、朝読書用の本を各教室に用意しました。読書の習慣が身に付くように環境を整えています。



図書館に展示された作品

ふれあいトーク宅急便

～保健師さんから学ぶ心の健康～

2月4日の3、4校時に1年生の教科「道徳」の授業に練馬区保健所の保健師さん6人が来校し、ストレスコントロールと心の悩みを解消する方法について授業をしていただきました。学校では「道徳」で各学期1回ずついじめに関する教材を扱います。いじめや嫌がらせは、いじめをする側のこころの問題が根底にあります。自分のストレスを他者に向けて発散することでストレス解消をするという歪んだ感覚を身に付けてしまうと、それを改善することが難しくなります。そのため、いじめ防止の観点でも自分のストレスをコントロールできるようにすることが大切です。生徒はお互いのストレスコントロールをシェアし、また、友達を気遣う言葉がけについて学ぶことができました。意識することで、普段の生活にすぐに生かせる内容でした。



表彰 ～様々な部門で、優れた能力を発揮～

【第24回新宿区小・中学生俳句コンクール】

参加児童・生徒総数966名、応募作品総数2170句から選ばれました。

最優秀賞 3C 生徒さん

「卒業式 一步踏み出し 『また会おう』」

優秀賞 3D 生徒さん 「ペダルこぎ 春風シャツを ひとゆらし」

3D 生徒さん 「炎天下 ぼくの影へと 逃げる君」

1B 生徒さん 「終戦日 先祖が生き延び ぼくがいる」

1C 生徒さん 「湯に一つ ほのかに香る 冬至の夜」

入選 3A 生徒さん 「雷や 空にとどろく 太鼓の音」

3B 生徒さん 「西瓜食う 悩み幾度も 吐き捨てて」

3B 生徒さん 「さくらさき であいわかれる きせつきた」

3C 生徒さん 「夏空を 窓から望む 君を見る」

1C 生徒さん 「大阪城 見上げる父と 鳴くせみと」

1C 生徒さん 「すず虫の 音色を子守の 歌と聞き」

1C 生徒さん 「せみしぐれ さわがしさにも 音色あり」

1D 生徒さん 「はるがきた みみをすませば とりのうた」

学校賞 新宿区立新宿西戸山中学校 新宿区立西戸山小学校